# さまざまな人と活動が交錯する回廊のような駅舎 ―上州富岡駅舎設計提案競技―

富岡で暮らす人々と訪れる人々をやさしく包み込む、大きな回廊のような駅舎を提案します。

面積表

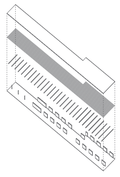
| | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1F | ・コンコース | 63 ㎡ | ・イベント倉庫 | 18 ㎡ | 2F | ・電鉄休憩室 | 13 ㎡ |
| | ・イベントホール | 82 ㎡ | ・ロッカー | 12 ㎡ | | ・ハイヤー休憩室 | 10 ㎡ |
| | ・観光情報スペース | 25 ㎡ | ・一般トイレ | 39 ㎡ | | ・更衣室、シャワー室 | 12 ㎡ |
| | ・電鉄事務室 | 72 ㎡ | ・駐輪場 (65 台) | 103 ㎡ | | ・その他 | 15 ㎡ |
| | ・ハイヤー事務室 | 55 ㎡ | ・軒下 | 251 ㎡ | | | |
| | ・倉庫、保管庫 | 23 ㎡ | ・その他 | 22 ㎡ | | 延床面積 | 815 ㎡ |

仕上表

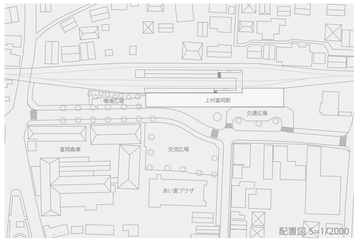
- 床　：地元産自然石貼り
- 壁　：PC 版＋AEP( 白 )
- 天井：杉無垢材＋ノンロット塗装
- 屋根：カラー鉄板波板葺き

## □PC 製の壁柱と木造のフラットルーフによる架構

自立するプレキャストコンクリート製の壁柱の上に、地産杉の無垢材を使用した屋根を架け渡し、全体を構成します。門型の架構は鉄道建築としての細長い形態を生かした見通しの良い内部空間を生み出し、富岡製糸場への玄関口にふさわしい、シンプルでゆとりのある駅舎空間をつくり出します。杉の無垢材でつくられた木造屋根は、年月を重ねるごとに表情の深みを増し、薄く強固な壁柱は、優れた耐久性をもって、屋根と、駅での人々の多様な活動を支えます。



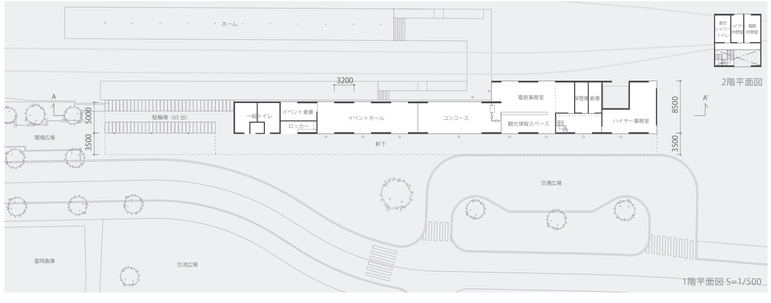
駅舎架構アクソメ図




配置図 S=1/2000

## □街と鉄道、双方に開かれた駅舎空間

木造のフラットルーフの下に広がる駅舎空間は、来訪者を迎え入れる玄関口にふさわしい暖かみをもった場所となります。奥行きの浅い待合空間は、街と鉄道の双方にほどよく開かれ、駅で行われるさまざまな活動が、駅前広場からだけでなく、上信電鉄を利用する人々にも開かれたものとなります。深い軒をもつ軒下空間は、街の大きな縁側として、富岡に暮らす人々と訪れる人々が共に寛ぎ、語らうことのできることのできる、もうひとつの交流スペースとなります。




1階平面図 S=1/500




2階平面図

## □サードプレイスとしての「イベントホール」

待合室を、「イベントホール」、「コンコース」、「観光情報スペース」の３つのスペースに分割します。各スペースが役割を分担することで、待合機能を充実させ、地域の交流拠点としての多様な利用に応えます。「コンコース」は鉄道を利用する人々のエントランスホールとして、「観光情報スペース」は来訪者に観光情報の提供を行う案内所として、それぞれが駅の待合としての基本機能を充分に果たすことで、「イベントホール」の自由で多目的な利用が可能になります。倉庫を併設した「イベントホール」は、ギャラリーやミニコンサートの定期開催、地元産品の販売、お祭り時のサテライト、地元高校生の勉強スペース等々、市民と来訪者の交流の場として、街のサードプレイスとして、これからの富岡を象徴する場となります。

## □活動そのものが顔となる開かれた外観

間口の広さを生かし、地上レベルで各種機能にアクセスできる便利でゆとりある駅舎をつくります。木造のフラットルーフの下では、軒下でくつろぐ人、催しに訪れる人、ホームを歩く人、ゆっくりと動く電車など、さまざまな人の動きや活動が重なり合い、開かれた外観をつくります。

南立面図 S=1/500

## □見通しの良い天井高 6.5m の待合空間

鉄道建築としての細長い形態を生かした待合空間は、天井高 6.5m のゆとりのある気積をもち、世界遺産の玄関口としてふさわしいスケールとなっています。コンコースには改札ラッチを設けず、イベントホール、観光情報スペースと一体となった見通しの良い空間となっており、駅としての利便性を確保しつつ、地域の交流拠点としてのにぎわいを創出します。

A-A'断面図 S=1/500

## □時を経てシンボルとなるフラットルーフ

地産杉を使用した木造のフラットルーフは、年月を重ねることで美しい飴色に変わっていきます。富岡製糸場や富岡倉庫に架かる古く大きな屋根のように、富岡に住む人々と訪れる人々をやさしく包み込み、時を超えて愛される存在となります。

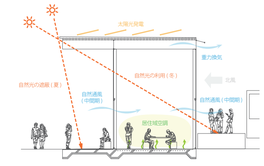
## □富岡の気候・風土に適した環境計画

深い軒を持つフラットルーフと反復する壁柱によって自然光を制御し、快適な駅舎空間をつくります。中間期の冷涼な自然風を活用し、無空調期間延ばすことで、ランニングコストの削減を図ります。地熱を利用した床輻射式冷暖房システムによる居住域空調を基本とし、太陽光発電システム、雨水利用 ( トイレ ) などの環境技術も積極的に採用 します。

**春・秋**　中間期は建物内にほどよく自然光を取り込み、サッシの開閉による自然換気を行います。

**夏期**　夏場は直射日光を遮りつつも北側から明るさを確保し、重力換気により上部の熱気排出を行います。

**冬期**　晴れの多い群馬県の冬期は、自然光を建物内に取り込みむことで日だまりをつくり、北側からの季節風を遮ります。



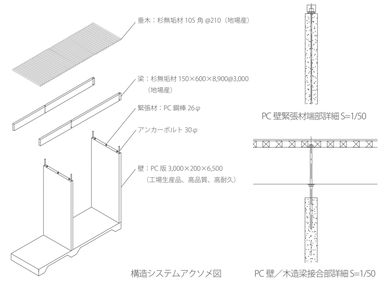

環境計画図 S=1/200

## □自立する PC 壁と木造屋根による軽快な構造

厚さ 200mm の PC 製の壁柱は、建物の水平力を全てまかなっており、短辺方向には掘立柱として、長辺方向には耐力壁として働き、内部の自由なプランニングを可能にします。

地産杉の無垢材を使用した梁と垂木の木造屋根は、スパンを飛ばし軒を出す為に働いており、柱の出ない広々とした軒下空間を実現します。

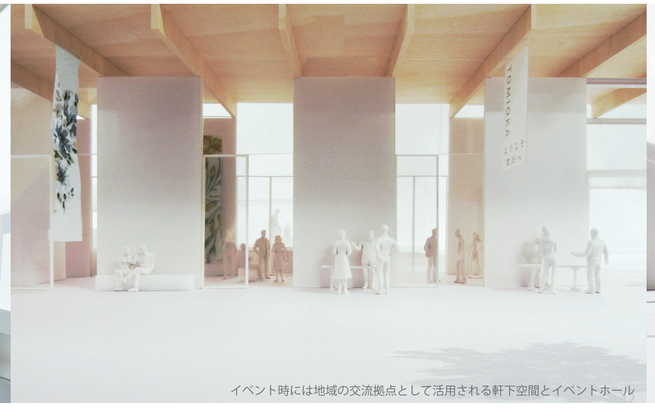
壁柱と木梁の接合部は、ボルト接合とすることで、木部の部分的な取り替えが可能となり、将来の劣化や損傷に対してフレキシブルな構造となります。




構造システムアクソメ図

富岡製糸場への玄関口としてふさわしいスケールの外観

広場とホームの両側に開かれた、明るく開放的なイベントホール



イベント時には地域の交流拠点として活用される軒下空間とイベントホール

街に開かれ、様々な人が行き交う大きな回廊のような駅舎